

【資料4】

中山間地域ふるさと事業 について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間地域ふるさと事業とは

- ◆中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- ◆中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱(農林水産省)に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は約6億円。
- ◆事業主体は都道府県。
- ◆運用益と基金を取り崩して事業費としている。令和3年度当初予算額は約15,251千円。

事業の構成

1 調査研究事業

令和3年度事業費:7,148千円(令和4年度予算額:10,582千円)

- ・地域住民活動の活性化に係るワークショップ等の実施
- ・大学生の等の外部の力を活用して集落の活性化を図る取組を実施
- ・集落営農を確立するための新たな生産技術や鳥獣害対策の調査研究

2 研修事業

令和3年度事業費:40千円(令和4年度予算額:300千円)

- ・地域活性化に必要なリーダーとなる人材を育成するための研修会の実施

3 啓発推進事業

令和3年度事業費:261千円(令和4年度予算額:1,434千円)

- ・中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動の実施

コンサルタントによる支援

企業に委託して実施
1地区あたり200万
円を上限とする。

(令和3年度事業費 : 3,992千円)

(令和4年度予算額 : 4,000千円)

地域住民の話し合いや地域による都市農村交流イベントの実施により、農林業・農山村の多面的機能の良好な発揮を促進する。

美里町 (R3~R4) 株式会社小田屋



- ・ 美里町旧大沢村地区の地域資源及び栽培される農産物（えごま、みかん、ブルーベリーなど）を活用した地域活性化についてのワークショップを実施した。
- ・ ブルーベリーの担い手育成、えごま油の商品開発と販売戦略、ミカンの付加価値を向上させる栽培方法の確立などについての検討が行われた。

中山間地域全域 (R3) 株式会社Arinos

- ・ 県内中山間地域において地域住民活動による地域農業等の活性化が必要な地域の洗い出しと地域資源を活かした活性化方策の提案を行う取組みを実施した。
- ・ コンサルより3町（鳩山町、ときがわ町、寄居町）での推進方策の提案がされ、該当3町に対し、プレゼンテーションを実施した。
- ・ プレゼンテーションを受けた町の意向等を確認しながら検討した結果、令和4年度にときがわ町でときがわ町産の山椒を活用した地域活性化を推進していくことを決定した。

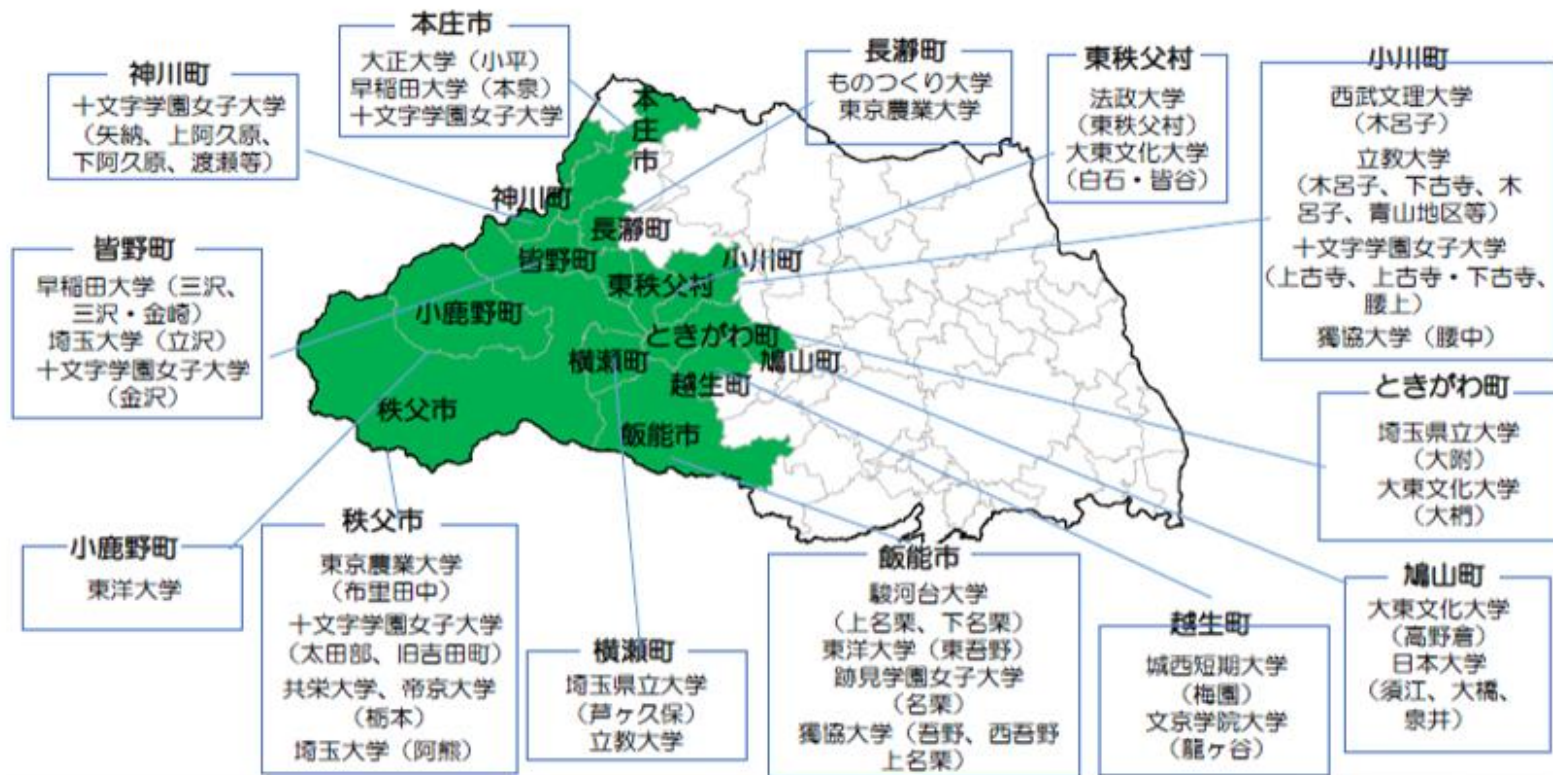
ふるさとと支援隊による支援

大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図る。
平成22年度から延べ44支援隊が活動している。

(令和3年度事業費 : 2,354千円)

(令和4年度予算額 : 5,300千円)

ふるさと支援隊による活動地域



大学に委託して実施
1地区あたり50万円(継続地区は40万円)を上限とする。

令和3年度の実施状況
計8支援隊が活動
(内訳)
継続 6支援隊
新規 1支援隊
モデル 1支援隊

県の研究機関による支援

(令和3年度事業費 : 778 千円)

(令和4年度予算額 : 962 千円)

1 概要

中山間地域において、地域住民活動の活性化に資することを目的に、集落営農を確立するための調査研究を県研究機関が実施する。

県農業技術研究センターでは「鳥獣害対策」、県茶業研究所では「お茶の生産技術」に関する研究を実施している。

2 令和3年度実施状況

(1) 鳥獣害対策

- ニホンザルの効果的被害対策の解明（GPS発信器のデータを活用した被害防止対策の検証）
- 被害防止対策の検証（侵入防止柵設置マニュアルの原案作成） など

(2) お茶の生産技術の確立

秩父地域の風土を活かした茶の製造法の確立と新たな需要の開拓をテーマに研究を実施。

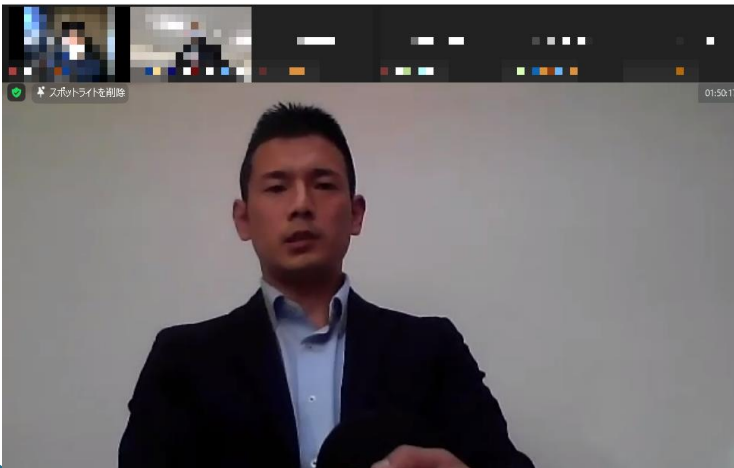
- 紅茶製造時に発生する出物の再利用の検討
- 施肥作業の省力化実証 など

ふるさとリーダー研修

(令和3年度事業費：40千円)

(令和4年度予算額：300千円)

中山間地域の活性化の推進及び助言等を行う人材を育成する。



開催日：令和3年12月15日

参加人数：87名

開催方法：オンライン（Zoom）

テーマ：

「地域でしごとをつくる～地域商社・ときがわ社中の事例を交えて～」
一般社団法人ときがわ社中 理事 風間 崇志 氏

- ・ 持続的に地域活性化を図るための取組の要点、取組事例について
- ・ 県の関連事業の紹介
- ・ 質疑応答

中山間地域における取組の広報

中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての 普及・啓発活動を実施する。 (令和3年度事業費： 261千円)
(令和4年度予算額： 1,434千円)

ホームページでのPR活動

○ポータルサイト「グリーン・ツーリズム埼玉」にて中山間地域の観光農園等の情報を発信



○令和3年度は中山間地域の観光農園を紹介するPR動画を作成し、「グリーン・ツーリズム埼玉」に掲載することで、情報発信を強化



所沢駅農産物販売会でのPR活動 (西武鉄道連携)

○西武鉄道が主催する秩父地域、飯能日高地域の農産物販売会において埼玉県の中山間地域の農業をPR



広報誌の配付

○中山間地域の農村の魅力や活性化の取組を紹介する情報誌『新・田舎人』を市町村等に配布
※年4回配布(9月、11月、12月、3月)

中山間地域ふるさと事業

中山間ふるさと・水と土保全推進事業

(棚田基金)

棚田基金の構成

1 保全ネットワーク推進事業

- 保全活動への都市住民等の参加推進を図るために行う普及・啓発及び情報の収集・提供

2 保全活動推進事業

- 保全活動を行おうとする住民組織の活動計画等の作成

3 保全活動支援事業

- 住民組織が行う保全活動に要した経費に助成

※地域振興関連施策（中山間地域等直接支払等）と連携

棚田基金を活用した取組

(令和3年度事業費：249千円)
(令和4年度予算額：750千円)

棚田地域に関する情報を発信し、都市住民も交えた地域住民活動を推進。

各種イベントでのPR活動

<令和3年度>

○ 所沢駅農産物販売会

(令和3年10月20日から3日間) において棚田米を配布し情報発信



イベントの様子



配布した棚田米

寺坂棚田の様子

令和4年度寺坂棚田学校開校式の様子



寺坂棚田学校HP

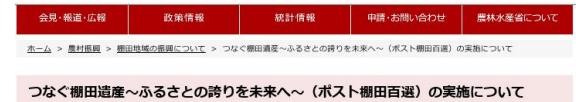
彼岸花まつり (令和3年度は中止、 令和4年度は開催予定)



彼岸花まつり

令和3年度「つなぐ棚田遺産」 (ポスト棚田百選) に認定

寺坂棚田
 (「つなぐ棚田遺産」
 サイト掲載写真)



[つなぐ棚田遺産が認定されました!](#)

「つなぐ棚田遺産」
 サイト
 (農林水産省HP)

中山間ふるさと事業【調査研究事業】

令和3年度事業評価及び令和4年度事業の進捗状況

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和3年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和4年度の事業展開の考え方
<p>1 事業実施状況</p> <p>(1) コンサルタントによる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 美里町の農産物(えごま、ブルーベリー等)を活用した方策の検討(地域住民活動支援) 地域資源調査を行い、鳩山町、ときがわ町、寄居町に対し地域活性化の推進方策を提案(推進方策提案) <p>(2) ふるさと支援隊の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 8支援隊が地域住民との共同活動等を実施 オンライン交流会、活動報告会の開催 	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の長期化が想定される中、安全面を十分踏まえた上での現地活動など、十分な活動ができるよう実施する。 新規地区の実施を推進していく。(目標:新規5地区) 事業実施後も、地域が持続的に活性化して、関係人口の増加に繋がる事業手法の検討を行う。



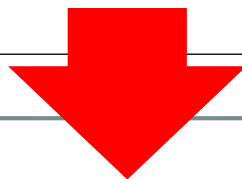
令和4年度の進捗状況

- ・コンサルタントによる地域住民活動支援 2地域(新規2地区:美里町、ときがわ町)
 - ・ふるさと支援隊の活動 11地域(新規7地区、継続4地区)
- コンサルタントによる支援は、美里町、ときがわ町の2地域で地域住民活動支援を実施。
- ふるさと支援隊の活動は6月上旬から開始され、オンラインによる活動も含め進んでいる。

中山間ふるさと事業【研修事業】 令和3年度事業評価及び令和4年度事業の進捗状況

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和3年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和4年度の事業展開の考え方
<p>1 ふるさとリーダー研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和3年12月15日 ・参加人数 87名 ・内容 「地域でしごとをつくる～地域商社・ときがわ社中の事例を交えて～」と題して、取組事例の紹介から、持続的に地域活性化を図る上で押さえておくべき取組のポイントなどについてオンラインで実施。 	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダーとなる人材を育成するため、時勢にあった研修テーマを選定し、開催する。



令和4年度の進捗状況

- ・ 11～12月頃実施予定。昨年度同様感染症対策としてオンラインでの実施を予定。

中山間ふるさと事業【啓発推進事業】

令和3年度事業評価及び令和4年度事業の進捗状況

総合評価： A・・・順調 B・・・要改善 C・・・コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

令和3年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和4年度の事業展開の考え方
<p>1 啓発事業の実施</p> <p>(1) 中山間地域の観光農園や棚田を紹介するPR動画を作成し、県のグリーンツーリズムポータルサイトに掲載した。</p> <p>(2) 西武鉄道主催の所沢駅農産物販売会で中山間地域の農業をPRした。</p> <p>(3) 情報誌「新・田舎人」を配布した。</p>	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の長期化が想定される中、各種イベントの開催状況の情報などを早期に把握し、中山間地域の広報活動を企画していく。 ・ ホームページを活用した、中山間地域の資源や魅力のPRを検討する。



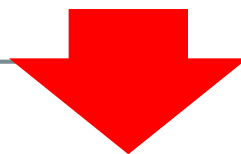
令和4年度の進捗状況

- ・ 中山間地域のイベント、観光農園などの情報をホームページで紹介(随時)
- ・ 彩の国食と農林業ドリームフェスタにおいて中山間地域の農業PR活動を行う
- ・ 情報誌の配布を行う(年4回予定)

中山間ふるさと事業【棚田基金】 令和3年度事業評価及び令和4年度事業の進捗状況

総合評価： A…順調 B…要改善 C…コロナ禍の影響等で事業内容を変更して実施したもの

事業名	令和3年度事業実績	県としての事業評価		事業評価を踏まえての 令和4年度の事業展開の考え方
中山間地域ふるさと事業【棚田基金】	<p>1 保全ネットワーク推進事業 西武鉄道主催の農産物販売イベントにおいて棚田米を配布し、棚田地域に関する情報を発信した。</p> <p>【事業実施箇所】 ・所沢駅(所沢市) ・寺坂棚田(横瀬町)</p>	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・横瀬町及び寺坂地区の活動組織と協議し、効果的なPR方法及び住民組織が行う保全活動に寄与する取組を検討して実施する。 ・県内の棚田の状況を把握するため、全県を対象にした調査を実施する。
		横瀬町ウオーキングイベント、西武鉄道による農産物販売会において棚田米や棚田ガイドブックを配布し、都市住民に向け寺坂棚田のPRを行うことができた。		



令和4年度の進捗状況(予定)

- ・彩の国食と農林業ドリームフェスタや横瀬町主催のイベント等を中心に、寺坂棚田のPRを実施する予定